

# 第14回デンパークフォトコンテスト 冬の部 審査結果

第14回デンパークフォトコンテスト[冬の部]にたくさんのご応募をいただき誠にありがとうございました。今回もデンパークの花や自然の魅力、人々が楽しむ表情・姿を写した力作が多数集まりました。

応募総数 56 点 (26 人) の中から、見事入選された作品 8 点を発表します。  
なお、四季ごとに募集を行い、各期ごとに入選した作品計 32 点から、より優秀な作品 8 点を選定いたします。

## 冬の部 入選 (8 名) ※敬称略・順不同



『光彩の躍動』 作者：倉内 幸博さん (知立市)

【作者コメント】

イルミネーションで彩られた木を露光間ズームで光の動きを表現。  
ヨーロッパ風お花畑 / 12 月中旬撮影

【審査員コメント】

・ズームを用いて、夢の世界を表現していて良い。



『来いっ！プテラ』 作者：近藤 啓子 (安城市)

【作者コメント】

「プテラ歯が無いネ〜」と申して見あげてる。  
デンパークディノランド / 1 月 2 日撮影

【審査員コメント】

・空飛ぶ恐竜と楽しんでいる人たちの表情がうまく1つの世界を表しています。



『暗に浮かぶ姫さま』 作者：神谷 正巳 (西尾市)

【作者コメント】

姫さまに小さな子供が物珍しそうにそっと触っていたのが可愛かった。  
グラスウオーク / 12 月 7 日撮影

【審査員コメント】

・影絵のような小さな子供さんが手を振っているような様子がたまりません。  
・できれば下半分ほどでまとめて欲しかった。



『出勤スタンバイ！』 作者：奥村 和夫 (安城市)

【作者コメント】

遊具を楽しむ少年が、これから大空へ緊急出勤するような勢いで駆け上がっていきました。  
リーチ・フォー・ザ・スカイ / 1 月 11 日撮影

【審査員コメント】

・広い空の中に遊具と楽しむ人を小さめに入れた事で、遊ぶ人の声が聞こえてきそう。  
・2:3 の比率であれば、もう少し左の空を出してほしかった。



『迫る顔』 作者：濱田 修 (豊明市)

【作者コメント】

雲が流れる晴天の下、恐竜の迫力が伝わるように顔を強調しました。  
デンパーク館前の芝生 / 1 月 13 日撮影

【審査員コメント】

・広角レンズの持つ特徴が最大に引き出され、見る人を驚かせます。



『飛び立つ』 作者：的場 初男 (安城市)

【作者コメント】

何処へ行くのか、飛び立つ姿が優雅で力強い。  
水生植物の池 / 1 月 16 日撮影

【審査員コメント】

・鴨が飛び立つ瞬間を流し撮りでとらえていて、写真に勢いがあります。  
・難しい瞬間をよくとらえています。  
・もう少し広がりほしい



『おっかけっこ』 作者：都築 令子 (安城市)

【作者コメント】

迷路で楽しく遊びました。  
不思議の森「光の迷路」 / 12 月 29 日撮影

【審査員コメント】

・スローシャッターを用いて電飾を流したことで、手前の子どもの世界が迫ってきます。



『光に映るシクラメン』 作者：杉浦 康弘 (安城市)

【作者コメント】

光に照らされ異様な感じ  
花木園プラザ / 12 月 5 日撮影

【審査員コメント】

・手前と奥と鏡と一見写り過ぎのように見えますが、一つの雰囲気を感じます。

【審査員講評】

- ・出会ったときの感動が見る人に伝わってくる写真が上位にきました。真剣に取り組んでおられる姿勢が見てとれることに拍手です。
- ・よりよく伝えるために画面構成を少し考えて頂けるともっと良くなる気がします。

「第15回フォトコンテスト」募集予告

対象期間：2020年3月14日～2021年1月24日の間に撮影したもの  
四季ごとに募集を行い、各期ごとに出選された入選作品32点から、より優秀な作品8点を選出します。